

げん す じゅうたくつば くに やおし ゆる にしごおりしぶ かぞく こくばいとうそう けつき

# 現にいま住んでいる住宅を奪った国・八尾市を許さない 西郡支部・8家族、国賠闘争に決起

うえき だんち お だ ぜったいはんたい

## 植木団地追い出し絶対反対



た か つ き げん ち と う そ う

# 11・30高槻・現地闘争へ



10月20日、高槻市役所前に登場、抗議の申し入れと「植木団地を守ろう」の宣伝活動に決起。高槻市は闘いを恐れ市役所入り口を閉鎖。

**11月30日(日)午後1時～**  
**会場 植木団地** (高槻市川添1-18-1)  
 駐車場あり。車は12時半までに会場に来て下さい  
 高槻市営バス JR高槻駅南側から富田団地行乗車30分、  
 富田団地中央下車徒歩3分。11時08・28・48/12時08・28  
 阪急高槻市駅北側から富田団地行11時13・33・53/12時13・33

### 安倍を打倒したぞ！

11月19日安倍政権は、ついに衆議院解散に追い込まれました。私たち労働者民衆の闘いが安倍を打倒したのです。7・1集団的自衛権行使の閣議決定に全国で怒りが爆発しました。国鉄を軸とした階級的労働運動の前進、沖縄知事選で辺野古移設反対派が勝利、前代未聞の公安警察300人を動員した強制執行を打ち破った西郡の闘い、京都大学での公安警察の摘発追放の闘いが安倍を追いつめました。他方でアベノミクスは大破産し世界大恐慌は激化しています。いまこそ労働者の力で安倍にとどめを刺し、世の中を作り変えよう。

7月31日には公安警察200人、8月26日には、公安警察を先頭に国・八尾市・裁判所300人が、8家族の強制執行のために西郡に突っ込んできました。9月19日の西郡住宅裁判大阪高裁判決前です。真夏の炎天下に19日間出ていけ！まさに8家族に「死ね！」という攻撃でした。

8家族は誰一人屈することなく、強制執行に絶対反対で真っ向から立ち向かいました。8家族と西郡支部は、団結を高槻市富田園芸協同組合

この闘いと一つになって、全国水平同盟高槻支部が呼びかける、植木団地追い出し絶対反対！11・30現地闘争に全国から総決起しよう！

西郡8家族が決起する国家賠償請求闘争にともに立ち上がろう。

西郡8家族は国賠闘争に決起

「このまま終わらすわけにはいかにい」すべてを奪いかえずぞー！西郡支部は、強制執行を打ち返した8家族を先頭に、国を相手に住宅追い出し強制執行を許さない国賠闘争に決起します。この闘いは新自由主義をうち倒す「生きさせる！」の新たな住宅闘争決起の全国への号砲です。

8家族は強制執行との闘いに勝利した



に拡大し、強制執行の狙いを打ち破ったのです。勝利したのは私たちです。

この闘いが、9月19日、大阪高裁判決をして、「現にいま住んでいる本件住宅の即時の明渡しの実効性は認められないことから、住宅及び駐車場の各明渡しに係る大阪地裁の仮執行宣言を取り消す」と言わしめたのです。まさに国家権力の8・26強制執行のデタラメさを暴き、支配の破綻を引きつりだしました。もはや強制執行は無効だ。国と田中八尾市長は強制執行の責任をとり謝罪せよ！直ちに

# 高槻市による植木団地追い出し許すな！

植木団地追い出し絶対反対の闘いは、西郡の闘いと一体の、新自由主義の更地化・民営化と真っ向から対決する闘いです。植木団地追い出し攻撃に、労働者の団結の力で勝利しよう。

団結と労働と地域の交流の場・植木団地

植木団地は、1975年同和対策事業の一環として始めました。高槻市富田地域の地場産業であった園芸業を営んでいた人たちが、団結して生きていくために高槻市富田園芸協同組合を結成したのです。高槻市も協力して高槻市川添地区に植木団地を作り、40年余

8家族の住宅を元にもどせ！

団結の拡大と新たな住宅闘争の決起へ

国賠闘争は、絶対非和解の八尾北・西郡の闘いに、労働者の勝利の展望がある

ことを示した闘いです。この闘いに続き、銚子市の住宅を



「家賃滞納続き 明け渡し当日」

り造園業を営んできました。植木団地で働く労働者にとって植木団地は、なくてはならない生産と生活の場であり、団結の砦としてあるばかりではなく、園芸フェアや中学生の課外実習などを通して、住民生活と結びついた存在となっています。

高槻市丸ごと民営化攻撃と一体の更地化攻撃

ところが高槻市は、昨年11月29日、



10・5全国水平同盟高槻支部結成大会

奪われた母娘心中未遂事件や青年の「マクドナルド難民」の現実。全国の解放住宅や公営住宅では応能応益家賃制度によって、住宅追い出し・更地化攻撃が襲っています。住宅闘争の原点は、衣食・住のすべてを奪われてきた労働者の生きさせる！の闘いです。新自由主義の10割非正規職化攻撃と一体で、労働者を街頭へ叩き出す攻撃は、絶対に許せません。応能応益家賃制度 絶対反対、住宅追い出し・更地化反対！新たな住宅闘争に全国で立ち上がろう。

「2014年11月30日までに出て行け」と言ってきたのです。高槻市は一切の話し合いを拒否し、植木団地で働く労働者とその家族を、問答無用に路頭に放り出し、更地にして売り飛ばしてしまおうというとてもない攻撃です。絶対に許すことはできません。

この攻撃は、ひとり植木団地にだけかけられた攻撃ではありません。部落差別を切っ先にした、高槻市丸ごと民営化攻撃です。さらに高槻市富田栄団地をはじめとした公営住宅の住民追い出し・更地化と一体の攻撃です。

植木団地で働く労働者は、一枚のピラで全国水平同盟と出会い、ともに西郡の強制執行反対闘争を闘いました。10月5日、全国水平同盟高槻支部を結成、10月11日、植木団地労働組合を結成しました。10月20日に、高槻市に抗議申し入れ行動に決起。11月2日東京で闘われた全国労働者総決起集会に登壇し、全世界の労働者に植木団地の闘いを訴えました。追いつめられた高槻市は、10月31日植木団地継続使用不許可決定を行いました。闘いはこれからです。

11・30植木団地現地闘争に総決起しよう

解放同盟の幹部は、高槻市の手先となつて高槻市富田園芸協同組合に分断を持ち込み、植木団地追い出しと富田栄団地更地化の先頭に立っています。絶対に許せません。既成の解放運動を打倒し、全国に闘う水平同盟の旗を打ち立てよう。

全国の職場・地域に、国鉄闘争を基軸に、非正規職撤廃を正面課題にすえて闘う、無数の労働組合を作って闘おう。

11月30日、全国から植木団地現地に結集し、追い出し攻撃を打ち破ろう。



10・11植木団地労組結成大会